



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

## 1. 化学品及び会社情報

### 1.1. 製品名称

製品の名称

ビッグクリーン (Big Clean)

### 1.2. 会社情報

会社名 (輸入販売)

三洋ライフマテリアル株式会社

住所

〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル 8階

電話番号

03-3518-2151/fax 03-3518-2152

製造元

ComStar International Inc.

住所

20-47 128<sup>th</sup> St. College Point, NY 11356 USA

電話番号

1-718-445-7900, 800-328-0142/fax 718-353-5998

### 1.3. 推奨用途及び使用上の制限

液体洗浄剤

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1. 化学物質または混合物のGHS分類

H290 金属腐食性化学品 区分1

金属腐食のおそれ

H314 皮膚腐食性/刺激性 区分1A

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

H318 眼に対する重篤な損傷性/  
眼刺激性 区分1

重篤な眼の損傷

H402 水生環境有害性-短期(急性) 区分3

水生生物に有害

### 2.2. ラベル要素

セクション11および12に列挙された毒性データを使用して、生成物は、以下のように標識されます。



GHS05

危険

### 注意喚起語

H290 金属腐食のおそれ。

H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

H318 重篤な眼の損傷

H402 水生生物に有害



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

## [予防]:

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P264 取扱後は露出した皮膚を十分に洗うこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

P301+P330+P331 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。

P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 直ちに毒物センターまたは医師に連絡すること。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

## [保管方法]:

P405 施錠して保管すること。

P406 耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

## [廃棄]:

P501 内容物/容器を地域/国の規則に従って廃棄すること。

## 2.3.試験結果として分類されないその他の危険有害性

分類に寄与しないその他の危険有害性: 通常の状態ではなし。

## 2.4.未知の急性毒性(GHS US)

該当なし

## 3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

成分/化学物質の指定	重量%	GHS分類	注意
水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 化審法番号:1-410	5%	重篤な皮膚の薬傷・ 眼の損傷 H314 区分1B 重篤な眼の損傷 H318区分1 水生生物に有害 H402 区分3	
水酸化カリウム CAS番号: 1310-58-3 化審法番号:1-369	5%	重篤な皮膚の薬傷・ 眼の損傷 H314 区分1B 重篤な眼の損傷 H318区分1 水生生物に有害 H402 区分3	
シリコーンポリマー CAS番号:63148-62-9 化審法番号: 7-476	>3	区分外	
オキシビスニナトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3 化審法番号: 9-1958, 2-10	>3	重篤な眼の損傷 H318区分1 長期継続的影響により水生生物に 毒性 H411 区分2	
水			

§ 1910.1200のパラグラフ(i)に基づき、組成物の特定の化学的同一性および/または正確なパーセンテージ(濃度)は、企業秘密として非公開



## 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

とされています。

### 4. 応急措置

#### 4.1. 応急処置

##### 一般的な措置

応急措置をする人は、自身も守る必要があります。心拍機能を確認する。

事故や異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。

安全データシートを医師に見せてください

意識が無い場合: 十分な気道と呼吸しやすい姿勢を確保します。

呼吸停止の場合: 人工呼吸又は酸素吸入を行う。

心停止の場合: 心肺蘇生を行います。

呼吸が苦しく意識のある場合: 呼吸しやすい姿勢で休息させる。

ショック時: 仰向けになり、足を少し上げる。嘔吐/窒息/誤えん性肺炎を予防する。被害者を覆い体温の低下を防ぎます(温めない)。被害者を落ち着かせ、身体的負担を避ける。

##### 吸入した場合

被害者を新鮮な空気のある場所に移動させること。呼吸器の障害: 医師または医療機関に相談すること。

##### 眼に入った場合

すぐに多量の水で15分間洗い流す。コンタクトレンズがあり、簡単に外せる場合は外す。すすぎを続けること。中和剤は使用しないこと。眼科医の手当てを受けること。

##### 皮膚に付着した場合

皮膚から製品を拭き取ること。洗い流す前に衣服を脱ぐこと。直ちに多量の水/シャワーで洗うこと。(15分)化学的な中和剤を塗布しないこと。皮膚に付着している場合、衣類は無理に脱がせないこと。傷口を滅菌包帯で覆うこと。医師または医療機関に相談すること。火傷の程度が10%以上の場合、被害者を病院に連れて行くこと。

##### 飲み込んだ場合

水で口をすすぐ。摂取直後: 大量の水を飲ませる。無理に吐かせないこと。解毒剤を与えないこと。直ちに医師または医療機関に相談すること。大量に飲み込んだ場合: 直ちに病院へ行くこと。

#### 4.2. 最も重要な症状および影響(急性および遅発性)

##### 吸入した場合

使用時: 喉の乾燥/痛み。咳。呼吸器への刺激、炎症。鼻粘膜の刺激

持続的/反復的/曝露/接触時: 呼吸困難

後に次の症状が現れることがある: 喉頭痙攣/上気道の浮腫の可能性。肺水腫のリスク。呼吸困難。

##### 眼との接触後の症状/影響

眼組織の腐食。永久的な眼の損傷。眼に重大な損傷を引き起こす。

##### 皮膚接触後の症状/影響

水疱。腐食性の火傷/皮膚の腐食。治癒が遅い創傷。

##### 摂取後の症状/影響

喉の乾燥/痛み。吐き気。腹痛、吐物に血が混じる。嚥下困難。食道穿孔の可能性。胃/腸粘膜の熱傷。消化器官の出血。

##### 慢性症状

継続的/反復曝露/接触時: 皮膚の乾燥。皮膚の発疹/炎症。気道の炎症の可能性。胃腸の不調。必要に応じ、直ちに医師の診察を受けること。

### 5. 火災時の措置

#### 5.1. 消火剤

周囲の火災の環境に合わせ消火剤を選択する。

#### 5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

##### 火災の危険性:

直接火災の危険性: 不燃性



## 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

### 爆発の危険性

間接爆発の危険性: 爆発の危険性を伴う反応: 「反応性の危険性」を参照。

### 反応性

金属腐食性あり。大気中の二酸化炭素を吸収する。(一部の)酸と激しく反応し、爆発する。多くの化合物と激しく反応: 熱を放出し、火災または爆発の危険性が増大する。水(水分)との発熱反応、腐食性の霧を放出する。水(湿気)に触れると発熱反応し、可燃性物質と反応する。自然発火の危険性。

### 5.3. 消火を行う者への助言

#### 火災の予防措置:

火/熱への曝露: 風上を保つ。避難を検討する。ドアおよび窓を閉める。

#### 消火方法:

タンク/ドラムを水スプレーで冷却する/安全な場所に移動する。冷却/消火時: 物質中に水分が存在しないこと。有毒な消火用水に注意。水は適度に使用し、可能であれば水を回収する。

#### 消火を行う者の保護具及び予防措置

自給式呼吸器および適切な保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

#### 一般的対策:

物的被害を防止するためにも漏出物を吸収する。堤防を築き、流出物を封じ込める。

#### 非緊急時の対応者への勧告

##### 保護具

適切な手袋、顔面保護具、防食衣を着用すること。

粉塵雲生成時: 圧縮空気/酸素装置。

##### 緊急時の手順

危険区域を示す。粉塵雲の発生を防ぐ。器具を腐食させないこと。容器を密閉すること。容器内に水が入らないようにすること。汚染された衣服を洗濯すること。水分/水に接触した場合: 風上を保つこと。避難を考慮すること。

##### 粉塵放出時の対策

粉塵発生の場合: 風上を保つこと。近隣住民に扉や窓を閉めてもらう。

##### 緊急時の対応者への勧告

適切な保護具を着用すること。粉塵を吸入しないこと。

緊急時の手順: 漏出を止める

### 6.2. 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起さないよう措置を講じること。

### 6.3. 回収、中和等の処置

放出された製品を封じ込め、適切な容器にポンプで送りこむ。漏出を止め、供給を遮断する。固形物の流出を塞ぎ止める。

危険有害反応: 爆発性のガスと空気の混合物を測定する。反応: 可燃性ガス/蒸気を水カーテンで希釈する。

#### 浄化方法

流出物は、乾燥状態にある場合にのみ回収する。濡れた物質: 粉末石灰石または乾燥砂、土、パーミキュライトで覆います。固形物がこぼれた場合は、密閉容器に入れます。管理条件下: 残留物を希酸溶液で中和します。中和すると激しく反応する可能性があります。こぼれた/残ったものを注意深く回収します。汚染された表面を多量の水で洗い流します。

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。取り扱った後は、衣服や器具をよく洗うこと。



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1. 安全な取扱いのための予防措置

適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。粉塵の発生を避けること。作業は開放下/局所排気/換気の下で行うか、適切な呼吸保護具を着用する。法的要件に従うこと。汚染された衣類は直ちに脱いで、よく洗うこと。耐腐食性の機器を使用すること。廃棄物を排水溝に排出しないこと。

#### 衛生対策

食事、給水、喫煙の前、および職場から出る際は、手やその他の曝露部位を石鹼と水でよく洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をすること。作業服と外着は分ける。別々に分けて洗濯する。

### 7.2. 混触危険性等、安全な保管条件

#### 不適合物質:

可燃性物質、金属、強酸、強酸化剤。湿気を避ける。

#### 混触危険物質

不適合物質、水分、熱源。

#### 保存温度

20 ° C

#### 熱源や発火源

製品を熱源から避ける。

#### 混合貯蔵の禁止

可燃性物質、酸化剤。(強)酸、金属、有機材料、水(湿気)。

#### 保管場所

容器は乾燥した通気性の良い冷暗所で密閉して保管すること。常温で保管する。入れ替えた容器で保管しない。

#### 包装に関する特別規則

特別要件:密閉性、防水性、耐腐食性、乾燥性、清潔性、法的要件に適合していること。壊れやすい包装は堅牢な容器に入れること。

#### 容器包装材料

適切な材質:ステンレス鋼。ニッケル。ポリエチレン。紙。避けるべき材料:鉛。アルミニウム。銅。錫。亜鉛。青銅。織物。

詳細については、セクション2[保管]を参照

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 8.1. 制御パラメータ

CAS番号	成分	情報源	値
1310-73-2	水酸化ナトリウム	OSHA	2mg/m <sup>3</sup>
		ACGIH	2mg/m <sup>3</sup>
		NIOSH	2mg/m <sup>3</sup>
		US IDLH	10 mg/m <sup>3</sup>
		サプライヤー	確立された制限なし
1310-58-3	水酸化カリウム	OSHA	2mg/m <sup>3</sup>



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

		ACGIH	2mg/m3
		NIOSH	2mg/m3
		サブライヤー	確立された制限なし
		US IDLH	確立された制限なし
63148-62-9	シリコーンポリマー	OSHA	確立された制限なし
		ACGIH	確立された制限なし
		NIOSH	確立された制限なし
		サブライヤー	確立された制限なし
70146-13-3	オキシビスニナトリウム塩	OSHA	確立された制限なし
		ACGIH	確立された制限なし
		NIOSH	確立された制限なし
		サブライヤー	確立された制限なし
N/A	水	OSHA	確立された制限なし
		ACGIH	確立された制限なし
		NIOSH	確立された制限なし
		サブライヤー	確立された制限なし
		US IDLH	確立された制限なし

## 発がん性データ

CAS番号	成分	情報源	値
1310-73-2	水酸化ナトリウム	OSHA	発がん性物質の選択:いいえ
		NTP	既知:なし;疑わしい:なし
		IARC	グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;
1310-58-3	水酸化カリウム	OSHA	発がん性物質の選択:いいえ
		NTP	既知:なし;疑わしい:なし
		IARC	グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;
63148-62-9	シリコーンポリマー	OSHA	発がん性物質の選択:いいえ
		NTP	既知:なし;疑わしい:なし
		IARC	グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

70146-13-3	オキシビスニナトリウム塩	OSHA	発がん性物質の選択:いいえ
		NTP	既知:なし;疑わしい:なし
		IARC	グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;
N/A	水	OSHA	発がん性物質の選択:いいえ
		NTP	既知:なし;疑わしい:なし
		IARC	グループ1: No グループ2a: No グループ2b: No グループ3: No グループ4: No;

## 8.2. 適切な工学的管理

### 適切な工学的管理:

暴露の可能性のある場所のすぐ近くに洗眼器、安全シャワーを設置する。適切な全体排気および局所排気を行うこと。

## 8.3. 保護具

### 個人用保護具:

適切な保護眼鏡、または顔面保護具、保護衣、手袋。フィルタータイプP3の粉塵/エアゾールマスク。



### 防護服の材料:

耐性が高い:天然ゴム、ネオプレン、ニトリルゴム

耐性が低い:ブチルゴム、ポリエチレン、PVA

耐性が劣る:天然繊維

## 8.4. 曝露管理

### 呼吸器の保護具

適切な保護マスクを着用すること。

粉塵発生時:フィルタータイプP3の粉塵マスク。高発塵性:自給式呼吸器。

### 眼の保護具

適切な保護眼鏡、または顔面保護具

### 皮膚及び身体の保護具

適切な防食保護衣。

### 手の保護具

手袋

## 9. 物理的及び化学的性質



## 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

外観	液体
臭気	わずかな臭気
臭気閾値	データなし
pH	13
融点/凝固点	データなし
初留点と沸点範囲	188°C
引火点	なし
蒸発速度(エーテル=1)	データなし
可燃性(固体、気体)	該当なし
上限/下限、引火または爆発限界	爆発下限界: 135°C(275°F): 該当なし 爆発上限界: 199°C(390°F): 該当なし
蒸気圧(Pa)	6mmHg (70 °F)
蒸気密度	データなし
比重	> 2 (H2O = 1)
水への溶解度	完全に溶解
分配係数n-オクタノール/水(log Kow)	データなし
自然発火温度	(ASTM D 2155): 該当なし
分解温度	データなし
粘度(cSt)	25°C/77°F: 該当なし
揮発分(重量%)	該当なし
オクタノール/水分分配係数	該当なし
9.2.その他の情報	
その他の関連情報はありません。	

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1.反応性

金属腐食性あり。大気中の二酸化炭素を吸収する。(一部の)酸と激しく反応し、爆発する。多くの化合物と激しく反応:熱を放出し、火災または爆発の危険性が増大する。可燃性物質と反応する可能性有り。

### 10.2.化学的安定性

吸湿性。空気に暴露すると不安定。

### 10.3.危険有害反応可能性

酸と激しく反応。

### 10.4.避けるべき条件

不適合物質。

### 10.5.混触危険物質

強酸化剤。強酸、金属、可燃性物質。

### 10.6.危険有害な分解生成物

酸化ナトリウム



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

## 急性毒性

成分	経口LD50、 mg/kg	皮膚LD50、 mg/kg	吸入蒸気LC50、 mg/L/4hr	吸入粉塵/霧LC50、 mg/L/4時間	吸入ガス LC50、 ppm
水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2	35156 mg/kg	1350 mg/kg	データなし	データなし	データなし
水酸化カリウム CAS番号:1310-58-3	> 35000 (mg/kg)	1300 mg/kg	データなし	データなし	データなし
シリコーンポリマー CAS番号:63148-62-9	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし
オキシビスニナトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし
水(N/A)	データなし	データなし	データなし	データなし	データなし

注:急性毒性について経路特異的なLD50データが入手できない場合、変換された急性毒性点推定値を製品のATE (急性毒性推定値)の計算に使用しました。

## 11. 有害性情報

分類	区分	危険有害性の説明
可能性のある曝露経路		皮膚および眼に接触
急性毒性(経口)	---	該当なし
急性毒性(経皮)	---	該当なし
急性毒性(吸入)	---	該当なし
皮膚腐食性/刺激性	1A	眼に対する重篤な損傷性
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	1	重篤な眼の損傷を引き起こします。
呼吸器感作性	---	区分外
皮膚感作性	---	区分外
生殖細胞変異原性	---	区分外
発がん性	---	区分外 (入手可能なデータに基づくと、分類基準は満たされない)
生殖毒性	---	区分外
STOT単回曝露	---	区分外
STOT反復曝露	---	区分外
誤えん有害性	---	区分外



# 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

ヒトの健康への悪影響および症状の可能性	---	重度の皮膚熱傷を引き起こします。眼を重篤に損傷します。
吸入後の症状/影響	---	使用時: 喉の乾燥/痛み。咳、呼吸器への刺激。鼻粘膜の刺激。連続/反復/暴露/接触時: 呼吸困難。後に次の症状が現れることがある: 上気道の浮腫の可能性。喉頭痙攣/浮腫の可能性。肺水腫のリスク。
皮膚接触後の症状/影響	---	水疱。腐食性の火傷/皮膚の腐食。治癒が遅い創傷。
眼との接触後の症状/影響	---	眼組織の腐食。永久的な眼の損傷。
摂取後の症状/影響	---	喉の乾燥/痛み。吐き気。腹痛、吐物に血が混じる。嚥下困難。食道穿孔の可能性。胃/腸粘膜の熱傷。消化器官の出血。
慢性症状	---	継続的/反復暴露/接触時: 皮膚の乾燥。皮膚の発疹/炎症。気道の炎症の可能性。胃腸の不調。

## 12. 環境影響情報

### 12.1. 毒性

本製品に関する追加情報はなし。化学物質固有のデータについてはセクション3を参照のこと。

**生態学- 一般:** 規則(EC)第1272/2008号の基準に従って、環境に対して危険とは分類しない。

**生態学- 空気:** オゾン層に対する危険性に分類されない(規則(EC) No 1005/2009)。フッ素化温室効果ガスのリストには、既知の成分は含まれていない(規則(EC) No 842/2006)。

**生態学- 水:** 地下水汚染物質。飲料水中の最大濃度: 200mg/L(ナトリウム)(指令98/83/EC)。魚類に有害。無脊椎動物(ミジンコ)に有害。

### 水生生態毒性

成分	96時間LC50魚、mg/L	48時間EC50甲殻類、mg/L	ErC50藻類、mg/L
水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2	45.4mg/L	40.38mg/日	入手不可
水酸化カリウム CAS番号: 1310-58-3	> 44mg/L	> 40mg/L	入手不可
シリコーンポリマー CAS番号: 63148-62-9	入手不可	入手不可	入手不可
オキシビスニトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3	入手不可	入手不可	入手不可
水(N/A)	入手不可	入手不可	入手不可

### 12.2. 残留性および分解性

調製物そのものについて入手できるデータはありません。



## 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

### 生物化学的酸素要求量(BOD)

該当なし(無機)

### 化学的酸素要求量(COD)

該当なし(無機)

### ThOD

該当なし(無機)

### 12.3.生物蓄積性

生物蓄積性なし

### 12.4.土壤中の移動性

データなし

### 12.5.PBTおよびvPvB評価の試験結果

本製品はPBT/vPvB化学物質含有なし

### 12.6.他の有害作用

データなし

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1.廃棄物処理方法

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

### 追加情報

規則(EU) No 1357/2014および規則(EU) No 2017/997により改正された指令2008/98/ECによる有害廃棄物。

### 生態系廃棄物

環境への放出を避けること。

## 14. 輸送上の注意

### 輸送部(DOT)

DOTに従って

輸送文書記載:

UN1760 水酸化ナトリウム溶液、8、II

UN-No. (DOT)

UN1760

適切な出荷名(DOT)

水酸化ナトリウム溶液

輸送危険有害性クラス(DOT)

8 - クラス8 - 腐食性物質49 CFR 173.136

包装等級(DOT)

II - 中程度の危険性

危険有害性ラベル(DOT)

8 - 腐食性



腐食性の8



## 安全データシート

Big Clean

SDS改訂日:

2024/9/1

### 15. 適用法令

労働安全衛生法	水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 化審法番号: 1-410 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 皮膚刺激性有害物質(労働安全衛生規則第594条の2)
	水酸化カリウム CAS番号: 1310-58-3 化審法番号: 1-369 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9) 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条) 皮膚刺激性有害物質(労働安全衛生規則第594条の2)
労働基準法	水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 化審法番号: 1-410 疾病化学物質(法第75条の2) 水酸化カリウム CAS番号: 1310-58-3 化審法番号: 1-369 疾病化学物質(法第75条の2)
水質汚濁防止法	水酸化ナトリウム CAS番号: 1310-73-2 化審法番号: 1-410 指定物質 水酸化カリウム CAS番号: 1310-58-3 化審法番号: 1-369 指定物質 オキシピスニナトリウム塩 CAS番号: 70146-13-3 化審法番号: 9-1958, 2-10 指定物質

### 16. その他の情報

#### 責任の限定について

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

本安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者には提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本SDSの改訂版を受領した場合は、旧SDSを廃棄下さるようお願いいたします。